

諦めなかつたこと

50歳代グランプリ 小舛能子

ミセス日本グランプリ
第1回ミセス日本グランプリ受賞者の手記

<http://www.mrs-nippon-grandprix.com>



51年生きてきて諦めなかつた事が
四つあります。一つは、今回頂いたミ
セス日本グランプリの50代グランプ
リです。

二つ目は母の事。

三つ目は子どもの事。

四つ目は愛犬の事です。

これからこの四つの事を含めて書かせ
て頂きます。

私は山口県の岩国市で生まれました。祖父が能をやっていたので能子（のりこ）と名づけら
れました。父は最初、男の子が欲しかつたらしく、理由は女の子だとキヤツチボールしよ
うか？と、声をかけられないと思つたからです。父は大の野球好きですから。私が生ま
れる少し前に占い師を家に呼んで、男の子か、女の子かを聞いたそうです。占い師が男と言
うので、父が今日はお祝いだ、おご馳走を準備してと、言つた時、占い師が男の子の様な
女の子と言うと、もうお祝いは中止だと言つた父にとても可愛がられ、親バカで困つてお
ります。占い師が言つた通りの男の子の様な女の子で、10ヶ月で歩き、2才の頃にジャ
ングルジムのてっぺんまでスイスイと登つていたそうです。両親は不動産の事業やレスト
ト



ラン経営などで忙しくしていましたので、私が生後6ヶ月の時から私のお世話をしてくれたおばあちゃんが居ました。わかりやすく言えば乳母ですが、若い方にはますますわかりづらいでしようか？そのおばあちゃんが、ジャングルジムの下でお願いだから下りて来てーと困っていたそうです。私を置いたまま家の者を呼びに行くわけにもいかず、ただただ降りて来てーと、何度も声を出す事しか出来ません。でも私はおばあちゃんが大好きだったので、おばあちゃんが悲しい顔をすると、降りていたそうです。そのおばあちゃんと高校三年生まで一緒に居ました。東京に居る息子さんに今度、生まれる子どもの面倒を見てほしいと言われ、おばあちゃんは東京に行つてしましました。ところが、おばあちゃんと深い縁があつたのでしょうか。私が22才で結婚をし、東京に来る事になり、それも同じ練馬区で、又会えるようになりました。その後、私は主人の仕事の関係で千葉に引っ越しましたが、偶然にも家に遊びに来てもらう事になり、たくさんお世話をさせてもらう事が出来ました。それが最後でした。その後、私は主人の仕事の関係で千葉に引っ越しましたが、偶然にも家に遊びに来てもらう事になり、たくさんお世話をさせてもらう事が出来ました。それが最後でした。おばあちゃんの話しに逸れてしましましたが、そんなわけで男の子の様な女の子の私は、顔も男の子みたいでした。両親が見た目だけでも可愛いと、乳母車も洋服もレースのフリフリ、通りがかりの人がああ可愛いと言つてくれたので、母が喜びながらこの子の事、可愛いと言つてくれる人が居たわと、にこにこしていたら、まあ可愛いこのお洋服、どこで買われたのですか？そういう事が度々だつたそうです。

10ヶ月で歩き始めた私ですが、2才位になつてもあまりしゃべらないので、心配し、病院に連れて行つたところ、あと二、三ヶ月もすれば、お願ひだから少し黙つていてとい

う程になりますよつて言われ、その通りだつたと聞かされました。

運動神経は父に似たらしく、町内の運動会での親子リレーなどでは、いつも賞品をたくさんもらい、小学校でも男の子より運動が出来るので、男の子に睨まれていました。でも私はおつちよこちよいです。運動会の選手リレーの時、バトンをもらう時バックで渡されると落とすかもしれないという事で、バトンをくれる人の方を向いて前でもらう指示がだされました。私はバトンをもらつたままの態勢でそのまま走りました。皆が凄い顔をして大声を出しているので、私の事そんなに応援してくれているんだと思いきや、聞こえてきた言葉はなんとはんたーい。私は恥ずかしさと、挽回しないといけないと思う気持ちで異常な速さで走り、抜く事が出来ましたが、当分の間、反対に走つた子と言われていました。バレーダンスの発表会では、すってんころりん、その時も笑われてしましましたね。

こんな時代を過した岩国は宇野千代さんの生家もあり、とても愛されていた錦帶橋が私も大好きです。壮大な五連の橋は見る度に感動します。橋を渡ると山の上に岩国城があります。昔、敵が攻めて来て橋の上に居る時に、橋の柱を一本抜くと橋が壊れるという仕組みで、釘が一本も使われていません。とてつもない知恵だと思います。白蛇も居ます。私は蛇が好きではありませんが、白蛇は目が赤く、ほんの少し美しいと思います。白蛇の家がいくつかありますが、たまに抜け出た白蛇を役所に持つて行くと表彰されるなんて事もあります。

米軍基地もあります。基地在住の18才以上の人にならエスコートしてもらえる事が出来

るので中学生の頃、英会話を習いに行つたり、ショッピング、プール、映画、ボーリング、ゴルフ、ダンスパーティー、レストランでの食事などに行つたりして、よく基地内で楽しく過していました。毎年5月5日には、オープンハウスデーと言つて、基地が開放され県外からも、たくさん的人が訪れ、航空ショーなど、バラエティーに富んだイベントが開催されます。

こんな私が広島の女子高に行く事になりました。岩国から広島の学校に通う事は少し特別な事でしたが、実家の岩国は山口県の一番端にありますので、隣の駅が広島県の大竹です。今住んでいる千葉県市川市の隣駅が東京都の小岩というのと同じです。学校は広島の中心部にありますが、電車なら45分位で行けるので、岩国から広島へ通学する生徒はまああ居ました。朝、弱かつた私が6時44分の電車で通う事は、つらい事もありましたが、45分位なら関東では当たり前の事ですね。こんな遠くない所でも言葉のイントネーションは、かなり違います。初めての授業で私が、「先生」と先のところにアクセントをつけた時、皆が大笑いをしたので、え?私、何か言いました?と、聞くと頭を振つて、何も問題ないよという顔をします。大丈夫なのだと思い、又「先生」と言うと、笑いが起きます。後で、友人が広島は「先生」とつて言うので、へーと私が言うと、森昌子のせんせいも「先生」でしょ?「先生」と唄うとおかしいでしょ?実際に唄つてみるとおかしくて唄えませんでした。そう言われば納得します。歌がすべて標準語で唄つていて、たまたま広島も先生といつているとは限りませんが、森昌子さんが標準語で唄つていて、たまたま広島も先生とい

う言葉は標準語だつたのでしよう。ご存知の様に広島の方言はかなりのものですから、典型的な「じやけえ」＝「だから」という方言は、岩国も使います。というわけで、結婚して東京に来た時は言葉で大変な思いをしましたが、今ではたまになまるぐらいで、東京生まれの方かと思いましたなんで言われます。最近は、方言が可愛いという風潮がありますね。おかげで益々楽になりました。

その後、京都の大学に行く事になり、寮生活が始まりました。父が可愛い子には旅をさせると格好いい事を言つていきましたが、少しは寂しかったと思います。私の両親は、とても樂観的で、私も受け継いでいるのですが、何でも必要に迫られ、やる気になれば、出来るという考え方です。

前文でお伝えしたおばあちゃんが居ましたので、お恥ずかしながら、寮に入るまで家事をした事がありませんでした。寮で、洗濯機を使つていてる時（寮にある物は全自动ではありますんでした。）寮母さんが何をされているのですか？と聞かれたので、私はその時が洗濯デビューでしたのになぜか元気良く、洗濯ですが？と言つてしましました。寮母さんが、すすぎはお水を流しながらやるのですよと言われ、はあー、そうですかと、私はお水を溜めて洗濯機を廻していましたので。こんな事も知らない娘をよく寮に入れたなと思つていましたが両親はさすがに、これ位は自分で学んでいたのだしよう。

でも一度、恥をかけばいいことです。翌日からはお水を流しながら、にこやかにやつておりました。両親が私を寮に入れた意味がよくわかりました。

その年の夏（18才）。友人と京都で遊んで居る時に、ハリウッドでも活躍された有名な俳優さんにスカウトされました。子どもの頃、男の子のような女の子と言われた私がお姫様の役がいいねと言って頂けたので、わからないものです。芸能界に興味はありましたが、私なんかには出来ないのではと思つていました。その時、一緒に居らした映画の進行係の方に何度も連絡を頂きましたが、気が乗らずそのままになつてしましました。

スカウトして下さった俳優さん、私の事、覚えてくれてますでしょか。

是非お目にかかりたいな。

それから20才の時に、写真館に飾られた写真を見た写真館の親戚の美容師さんからモデルのお話しを頂き、しんびよう（雑誌）や美容と婚礼（雑誌）のモデルをやらせてもらいました。帝国ホテルで行われた成人式のコンテストのモデルをやり、最優秀賞とジャーナル賞を頂きました。

その後、22才で医師の主人とお見合い結婚をし、ノンがお見合い結婚だなんてと、ビックリされたものです。主人は同じB型？と思う程、タイプが違うと思いますが、違うから相性がいいかもしません。本質的なところは似ているのでしょうか。ちなみに家族四人全員B型です。昔、四人が違うテレビ番組を見ていた時、さすがB型家族だと思った事がありました。主人は広島県呉市の生まれで野呂山の麓に家があります。主人の母は一人暮らしをしていますが、近所に親類がたくさん住んでいるので、寂しい事はない様で、のんびりと暮らしております。というわけで、家では、広島弁と山口弁が飛びかっていま

す。主人は言葉に順応性がなく、先日も「まつや」に行こうというので、え？牛丼？と私が言うと、アントニオデリと言います。

それは「まつや」でしょ。

そんなのどっちでもいいよ

それじゃあ、話が通じないよ。

最初からアントニオデリと言えばいいのに。

なんて、しばしば言い合う事があります。でもアントニオデリを食べていると、「まつや」でも「まつや」でもどっちでもいいかなと思える程、楽しい気分になりますね。でも、アクセントの位置が一つ違つただけで、こんなにも違う言葉になるのですから恐いものです。

その後24才の時に長男が生まれ、27才で娘を授かりました。息子が乳児の時、ミルクを飲む量が少なく、たくさん残していました。ミルク缶に飲み残しのミルクは与えないで下さいと書いてあつたので忠実に守り、ジャバジャバと



捨てていました。その時にアフリカの子ども達の事が浮かび、このミルクがあれば救つてあげられるのにと思い、我が子を可愛いと思えば思うほど、アフリカの子ども達が浮かんできました。とはいえ育児をしている身でアフリカに行く事は無理な事ですので、それからユニセフへの援助をさせて頂いております。

ボランティアミュージカルグループ・キヤトルリーフのサポートターもさせてもらつています。そのグループは老人ホームや病院で公演し、劇場での収益金は寄付されています。今度、主人が副院長をしています船橋総合病院で公演をしたいとおっしゃっていました。主人の妹が小児麻痺で広島の病院でお世話になつておりますので、度々、会いに行つています。その時にたくさんの車イスが並んでいるのを見て、介護の方達と車イスのおかげで、皆さんが出かける事が出来、お買物をしたり景色を眺めたりする事が出来るのだと感激しました。ミセス日本の会は福祉にも大変力を入れられていて、車イスも寄贈されているので心より賛同しております。

キヤトルリーフさんのサポーターをやらせて頂く事になつたきっかけは、いろいろな福祉活動がある中、自分も楽しみながら福祉活動をするという事が一番素晴らしいと信念を持つてゐる私の気持ちにぴつたりと合つたからです。私は14年間、オペラ歌手の先生に指導して頂き、コーラスをやつていた事があります。それと社交ダンスのラテンをやつてゐますので、ミュージカルにとても興味があるのです。それから何事にも諦めないで、頑張つてゐる私とキヤトルリーフさんの気持ちも一致いたしました。キヤトルリーフさんが

練習されている病院に行かせて頂いた事がありますが、とても熱心で楽しい様子でその成果をステージで披露され、諦めないという事をお伝えされています。演技、歌、ダンスも素晴らしく、車イスの方達や具合が悪くなられた方々の介護も徹底されているので、皆様に安心して見て頂く事が出来ます。これからも心より応援させてもらいます。

それではそろそろ、私の諦めなかつた四つの事、二つ目の母の事から書かせて頂きます。

母は17年前、日本で初めて女性観光協会会長になつた、とてもパワフルな母でした。ところが二度目の役を頂いた頃から血便が出ていたのを、一年間隠していたのです。入院なんて事になつたら、役の仕事を出来ないと思ったのでしよう。一年経ち、さすがに耐えられなくなつたのか、これから病院に行くと電話で知らされました。正しい結果報告を母が私に伝えなかつたらと思い、昔から良く知っている病院なので直接、電話しましたら、大腸癌の可能性があるとの事でした。母から手術する事になつたと連絡が入り、国病に入院しました。母は血便が出だした頃と同時に、めまいがして倒れたり、



歩いている時にバッグを落としたり、コレステロールが高い事もあり、脳梗塞予防の薬を飲んでいましたので、手術するにはその薬をストップしなければいけません。手術する時、大事な事の一つに出血を少なくするという事があります。脳梗塞は脳の血管が詰まる病気ですから、予防の薬は血液がよく流れる様にする物です。ですから手術二週間位前から薬を止めないと、手術中に血液が大量に流れます。

私達は腫瘍を一日も早く取つてもらいたい、転移したら大変だからと思いました。でも母は昔からとても勘が鋭かつたせいか、薬をやめると大変な事になると言つていました。悪い物を取つてもらつても、頭がおかしくなつたら生きていっても仕方がないと言い続けていたのです。それから知人の関係で、国内で一番設備が整つている大学病院に移りましたが、母の訴えは続き、二週間位なら脳梗塞予防の薬をやめても大丈夫と言わっていましたが、母が倒れてしまつたのです。すぐにCTを撮りましたが、異常なしです。母は不調を伝えていましたが、CTが異常がないと判断するので、周りの者は大丈夫というしかありません。母は、どうしてわかってくれないの?とベッドで泣いていました。この様な状態でも、やはり皆は一日も早く癌を取つてもらいたいと思います。とにかく転移が恐ろしいのです。

そんな中、大変な事が起きてします。MRIを撮っている時に母の意識がなくなつてしまつたのです。両側の脳血管が詰まる脳梗塞です。今まで、CTが異常を知らせなかつたのは、それまでは、一過性の脳循環障害で一瞬、詰まり、CTを撮った時には正常

に戻つていたのです。母が苦しんでいた事を誰もわかつてあげる事が出来なかつた。母の事を大事に思うあまりの結果で本当に苦しみの後悔です。その時、思いました。人の気持ち、病状はどんなに素晴らしい機械でも読み取る事は出来ないと。今、当時書いた記録を読みながら書いています。それから危篤の状態が一週間続き、その後は少し表情が出てきましたが、ほとんど意識はありません。

でも、私は諦めません。千葉から頻繁に帰り、千葉に居る時は毎日電話し、母の耳元に子機を当ててもらい、家族が交代で話しをしました。すると一ヶ月後、なんと『のりちゃん』と言つてくれたのです。この世に奇跡はあるのだと実感した瞬間です。医者を含め、皆さんもそう思われました。母の声を一ヶ月ぶりに聞き、本当に幸せでした。今度は次へのステップアップを考えました。強かつた母に、又小言を言つてもらえる位に回復して欲しいと。それからも身体は動きませんが、よくしやべれる様になり、看病で帰省している時、ママが頑張つてくれているから、私も頑張るよと、ガツツポーズを作つて言うと、そんなんじやダメよ、本当に頑張る時はそんなポーズは出ないよ、心の中で燃えるのよと、母にパワーをもらえ、母の回復力の凄まじさを感じました。その後、大腸癌の手術に挑戦しましたが、脳梗塞の薬を長年飲んでいた事でやはり出血が多かつた事と、昔、子宮外妊娠の手術をしていた事によつて内臓の癒着がひどかつた為、腫瘍を取り除く事は出来ませんでした。私が書いた母の回復記録は四年で幕を閉じましたが、諦めなかつた事により母との想い出を四年間、プラス出来たと信じています。父は医者に嫁がせた娘にどうして血

便が出た時、相談しなかつたのかと未だに悔やんでおります。今は御存知のとおり、癌は不治の病ではありません。早期発見で、今や大腸癌も人工肛門を付けずに済むという話を聞いております。母の場合、治療が全く違う病気が二つ同時に訪れた為、むずかしい点はありました。母の場合は、早く治療をしておけばこんな事になりませんでした。皆様には定期検診と早期治療をお勧めします。ちなみに私は30才から毎年、検診を受け、良い結果を聞き、お誕生お祝いをするというのを恒例の行事にしています。この度、神戸が真珠の町と聞き、母の形見の真珠のブローチを思い出し、ミセス日本グランプリ決勝当日、そのブローチを着け、母の事もスピーチさせて頂きました。母も福祉に大変力を注いでおりましたので、喜んでくれたと思います。

次に三つ目の子どもの事を書かせてもらいます。

私は家庭的に見えないらしく、家事をやつているの?なんてよく言われます。家事が好きなわけではありませんが、やっています。家族皆が外食も好きなので、バランス良く楽しく過ごしております。前文で書かせて頂いた様に結婚をして、家事をしていくなんて考えられないタイプでしたが、人は変わります。両親が言っていた必要に迫られればというセリフどおりです。

こんな家庭的に見えない私ですが、我が子の事が可愛くて仕方ありません。見かけではありませんね。子どもの為なら私の命を捧げてもいいと、ずっと思っています。私は当たり前の事と思つてゐるのですが、世の中には不思議とそうでない方が沢山います。さまざま

まなニュースを聞き、心苦しくなります。気持ちは、自然に伝わります。でも私は口にも出して言いたいので、いつも子ども達に可愛い、可愛い、ママの命をあげてもいいと言つていました。これこそ耳にタコが出来るという事でしょう。というわけで、子ども達の幸せを真剣に考えました。『価値観や満足感』を他人に決められるのではなく、自分自身を感じてほしい、どんな人生でもいいから自分に満足出来る生活をして欲しいという事です。とはいって、子供の時はもちろん自分で将来を決める事なんて出来ませんから、出来る事は何でもしてあげようと思いました。

そこで、幼稚園受験をさせる事にしました。いくら子どもだからといつても受験するのは本人ですので、あそこの制服、どう思う？ママが送り迎えするの、どう？と聞いてみました。答えは行きたいでした。幼稚園に通い、大変な思いをして合格する事が出来ました。幼稚園の送り迎えの時、下の娘を連れて行き、息子と一緒に娘も毎日、先生に挨拶をしていました。息子と娘は三才違いなので三年後に今度は娘が幼稚園受験をする事になり、同じ様に幼児教室に通い、娘も無事、入園する事が出来ました。その学園は高校まであります。が、皆さんの目的はその小学校に入る事なので、幼稚園から受験をする事になります。その小学校から東京都内の御三家中学を受験し、合格という事をプロセスとしています。ところが我が家のは息子と娘は、のんびりと高校までどっぷりとお世話になりました。おかげで私のお弁当作りは17年間にも及び、学園のコーラス部にも所属させてもらい、親子共々、楽しくマイペースに学園生活を過ごしておりましたので私のモットーとしている

『他人に価値観を決められる事なく、自分に満足出来る生活』 この言葉通りの毎日でした。素晴らしい学園で貴重な経験をさせて頂いた事に心より感謝いたします。愛情とこの言葉を二人が物心ついた時から伝えてき、諦めなかつた事が届いたのでしょうか、二人は、自分が満足出来る道を歩む為に最大限の努力をし、息子はレザーアーティスト、娘は医学になりました。私も二人を支える為、最大限の努力をしました。去年、息子にとても可愛いお嫁さんが大分から来てくれました。

二人は、とても相性が良く、お互の事をとても理解している様に思います。これからも仲良く、楽しく、暮らしていくてくれる事と信じています。御両親もお兄さんもとてもいい方で、楽しいお付き合いをさせて頂いております。これからも、どうぞよろしくお願ひいたします。



次は四つの目の愛犬の事です。

15年前、白のトイプードルを飼う事にしました。先程書かせてもらいました母の事がつらく、家族の支えがもちろん一番ですが、お昼は当然の事ながら主人は仕事、子ども達は学校ですので、どうしても考えてしまいます。犬を飼うのは、初めての経験で毛が抜けな



い、匂わない、頭が良いという事で決めました。アプリコットのティーベーカットが流行し始める頃でしたが、私は今でも白のブードルカットが好きです。名前はシャロン、当時私はシャロン・ストーンが好きだったからです。シャロンが来る日、なぜかソワソワし、シャロンに出会えた感動は私の頭から消える事はありません。最高に可愛かつたなあ。このシャロンが7回もの奇跡を起こしてくれたのです。おとなしい子を連れて来てと、お願いしたせいか、おとなしいというより、40日で来た時から血便が出ていた弱い子でした。近くの獣医に連れて行つたり、家にある人間用の薬を主人が少量飲ませたりでなんか治まりました。それからよく下痢をしたり嘔吐したりしていましたが、原因がわからず、ブードルはこういう子が多いと言われて過ごしておりました。シャロンが来てくれて心がとても落ち着きましたが、母の事が頭から全て消えるわけではありません。ある日、お昼に母の事を考えて泣いているとシャロンが走つて来て私の涙を舐め始めました。シャロン、こんな事をしてくれるのだと、その時は不思議な気持ちでした。その後、又泣いていると涙の匂いがするのでしょうか、又、もの凄い勢いで走つて来て涙を舐めた後、淋しそうな目をして私の前に座り、私をじっと見つめていました。そんなシャロンを見て、もう泣くのはやめよう、シャロンが悲しむからと心に誓いました。それから何日か経つてテレビドラマを見て泣いていると、やはりシャロンが走つて来たので、シャロン、テレビよ、テレビ見て泣いているのだから大丈夫よ、シャロン、心配させてゴメンネ、なんて事もありました。

シヤロンが7才になつた時、ベッドに飛び乗ろうとしたシヤロンがお腹の重さで上がる事が出来ず、ボテッと落ちたと娘が言うのです。そんな事はないでしようと言つていると、やはり上がれません。よく見るとお腹が妊娠しているかの様に膨れていました。なぜはないので太つたのかな?それにしてもおかしいなと思いながら様子を見ながら、翌日、シャンプーをしている時、あまりのショックでちょっと来てー、と主人を呼びました。シヤロンは毛が長かつたので、シャンプーをするまで、気が付かなかつたのですが、お腹はパンパンに大きくなつていて背骨は恐竜の背中の様になつていたのです。お水が溜まつてゐるのではと思い、近くの獣医に連れて行つてレントゲンを撮つてもらつたらやはりお水が溜まつていますと言われ、何か悪い物があるかどうか見つけたいけど、お水がたくさんありすぎて見えないとと言われ、次に血液検査をすると血液中の蛋白が命に関わる程、少なくなつていていたのです。ひどい下痢が始まり、何度も繰り返していましたが、ちゃんと自分のおトイレに行つてしていました。原因がわからず、手におえないという事で東大病院を紹介してもらい、翌朝、息子も一緒に東大病院に行く時も車に乗る前に何度もたくさんの量のおトイレをし、車の中ではしませんでした。本当に自分でセーブ出来る賢い子でした。東大病院に着くとすぐに検査が始まつて、腸の病気の可能性が高いと言われ、腸の病気になつた母の事で泣いていた私の涙を舐めてくれたシヤロンまで、腸の病気になるなんて、とても悲しい事でした。これから全身麻酔をかけて腸のカメラを撮りますと言われたので、こんな状態で麻酔をかけても大丈夫なのでしょうかと聞くと、どんな事でも10

0 % という事はありませんが大丈夫ですとの事でした。さすが東大病院と感動いたしました。5時間後にいい状態で目を覚ましたよと連絡が入り、病名は蛋白漏出性腸炎と告げられました。腸の病気で血液中の蛋白が漏れ、お腹にお水が溜まるのです。食欲があつても痩せていくというのが、この病気の特徴です。命には別状ないと言われ、悪性の腫瘍でもあるのではと心痛していましたのでほつとしました。いつも私から離れなシヤロンが帰りの車の中で、息子にも一緒に病院に行つてくれて有難うとでも言つているかの様に息子の膝の上にも座り、息子をじつと見つめていました。この病気は治療に時間がかかるもので、完璧に治るという事も難しいのです。ステロイドと抗生物質での治療が始まりました。私の思いが伝わったのか、二週間くらいで蛋白の数値が正常に戻り、東大病院で救つて頂いた事に心より感謝しております。これが一度目の奇跡です。この病気は定期的に血液検査をしないといけないと、落ち着いたり悪くなったりの繰り返しながら薬を飲む事も、頻繁ですので東大病院さんにはずっとお世話になりました。

6才の時から乳腺腫瘍が出来ていましたが、コロコロしているので悪性ではないでしょうと診断され（悪性の場合はべたつと、張り付く様に出来るそうです）ですからコロコロしている良性腫瘍はどんどん大きくなつていくそうです。あまり大きくなると自然に破れる事があるので、大きくなつたら取つてあげた方がいいと聞いていました、11才の時、たくさん腫瘍がありましたが、かなり大きくなつたものだけを（神経質なシャロンの事だから気になるのではと思ひ）手術する事にしました。針を刺して細胞を取り検

査もしていましたが、手術直前まで良性といわれていました。ただ、100%ではないというお言葉です。ところが手術をし、腫瘍を検査したらとてもショックな結果を告げられました。極めて重い乳癌だと、今回のオペで取れたとしても他の乳腺すべてに腫瘍がありましたのでそれが悪性か良性かはわかりませんが、大変な状況です。でも私は諦めません。冷静に考えてみました。犬の場合、癌と判断されたら1年以内に亡くなると聞いたことがあります。シャロンは5年も前から腫瘍があつたのです。今回のオペも、本人が気にするだろうと思い、取つて上げる事にしたわけでもし取らなければ癌と言われてなかつたのではとも思いました。良性から悪性に変わる事もあると聞きましたが、シャロンの事は間違いなのだと奇跡を信じる事にしました。

それからシャロンの腫瘍は転移する事はありませんでした。これが二つの奇跡です。シャロンが14才になるまで頓服でステロイドと抗生物質の投与は続きましたが、少しの不調も見逃さず、ケアをしていたので皆さん、ビッククリしていました。ステロイドを長い間、使用すると筋力が弱くなったり、糖尿病になつたりする事もありますがそちらの検査も定期的に行い、副作用が出る事も特にはありませんでした。

ところが15才を迎える頃、ステロイドが効かず、下痢が止まらなくなつたので東大病院に行くと高齢が原因だと思いますと言われ、他のステロイドを飲ませる事になり、このステロイドが効かなければ難しいと言われました。あーもうそんな年令になつたのだと、とても淋しかつたです。でも諦めません。それから3週間、又奇跡を信じ、看病をしました

ら気持ちが通じたのか復活してくれたのです。体重も戻り、先生方も凄いと言われて驚かれていました。これが三つ目の奇跡です。でもその後、シャロンが立ち上がりなくなつてしまつたのです。今までになかつた事が次々に起こり、高齢という事はこんな状態になるのだと身に染みました。でもまだまだ諦めません。リハビリでなんとかなるのではと思い、東大病院で相談したらうちはやつてないのですよと言われ（そうですよね、東大病院は生死に関わるペット達の手術、治療をされているので）ました。そこでインターネットを使って調べましたが、ペットのリハビリ施設はそうあるものではなく、遠くまで行かないと駄目かなと思い、問い合わせをしている時、たまたま、うちの近くで見つかり、そこに伺うと、皆さん諦められる中、愛情が大きいのですねと言われ、筋力アップの為、マッサージや屈伸などのやり方を習い、毎日、朝と夜二回のリハビリ生活を二週間続けた時、なんとシャロンが起き上がつてくれたのです。嬉しかったなあ、これが四つ目の奇跡です。

3・11の東北関東大震災の時にはシャロンをお留守番させて原宿でダンス（社交ダンスのラテン）のレッスン日でしたので、ちょうど青山のベルコモンズの交差点で車の信号待ちをしていました。突然、車が揺れ始めまして最初は車の調子が悪くなつたのかと思いましたが、隣の車も揺れていたのでこれは只事ではないとあたりを見ると、ビルから出で来たたくさん的人が座り込み、倒れそうになつてている車高の高い車や、ゆっさゆっさ、揺れているビルを指差している人など大変な様子でした。シャロンの事が気になり、すぐにUターンしようと思い、ダンススクールに電話をしましたが通じません。近くまで来てい

るのでスクールに行き、先生にシャロンが心配なので帰りますと伝え、急いで車に乗り込みました。皇居のあたりで家族、親類、友人から電話やメールをもらい、その時には少しの渋滞でしたので大丈夫よと返事をし、亀戸あたりまではいつもよりは渋滞していましたが一時間位で行く事が出来ました。ところが、そこからがまさに悪夢でテレビで御覧になつた事と思いますが、両側の歩道は人で埋めつくされ、車はほとんど動きません。歩き疲れうずくまつっていた人に一分後には車が抜かれるという状態です。電話も繋がらなくなり、とにかく早く帰りたいと思つても時間が経つばかりで普段なら自宅のある千葉の市川まで1時間くらいで帰れるのに、夜の7時になつても帰る事が出来ません。その時に主人からメールが入り、主人の職場がある千葉の船橋から歩いて帰るというのです。シャロンがどうなつているか、とにかく心配だと告げて、もしもの事があつたらすぐに病院に連れて行つてと頼みました。今までどんな時も諦めずに奇跡を起こしてきたのにこの地震で・・・でも今回も諦めません。つらい気持ちでほとんど動かない車を必死に運転していた9時頃、主人が家に着いたとメールが来て『シャロンは無事』あー想いは伝わるのかなー。リハビリで起き上がる事が出来る様になつたとはいえ、ほとんどお気に入りのキティーチャンのクッショーンに座つていて、主人が帰つた時もクッショーンの上でクッショーンの周りギリギリの所に花台、花瓶等が散乱していて、その光景を見た主人は本当に驚いたそうです。結局、私が家に着いたのは18時間後の翌朝の9時でした。これが五つ目の奇跡です。

それから4月22日に又立ち上がる事ができなくなりましたが、前回の様にリハビリを

したら三日後、ぶるぶる震えながら立ち上がる姿を見せてくれたのです。体中の力をすべて出し切つた様に見えました。こんなにも奇跡的なパワーが出るものなのだと涙が溢れました。これが六つの奇跡です。

立ち上がれたものの、翌朝から後足がくつついだ様になり、歩く事が出来なくなつたので東大病院に連れて行くと、病院に着いてイスに座つたと同時に首がだらりと垂れ、意識が無くなりハアハアと呼吸が荒くなつたのですぐに近くに居た先生に声をかけましたら主治医が来て下さり、お預かりしますと言われ、シヤロンを連れて行かれました。診察室の前で祈りました。今回は無理かもしれない、でも諦めない。主治医が出て来られ、今、点滴をしています。少し落ち着いていますが危険な状態ですと、私は可愛くて仕方がないのによろしくお願ひしますと、泣きながら伝えました。貧血になつてるので輸血の準備をしていますと告げられ、脳梗塞の疑いもあるとの事でした。犬の場合、脳のCTを撮る事が出来ないので、状態から判断するしかないので。輸血が終わり、今、呼吸が苦しそうなので酸素マスクをしています。意識がまだしつかりしていませんが、会つてあげて下さいと言わされたので人間と同じ様に上を向いて寝て、酸素マスクをつけている姿を想像し、処置室に入つたら横向きに寝て、横に酸素マスクを置き、鼻を入れていました。（そうですが、犬は上を向いて寝ませんよね）意識が無いのかなと覗き込み、シヤロンと呼ぶと、酸素マスクを振り払い、顔を上げ、シッポを振つてくれました。主治医がマスクに鼻を入れてくれましたが、私がシヤロンと言うと又マスクを振り払い、顔を上げてシッポを振つ

てくれます。横に居た主人がこんな事があるのだなと、しみじみとつぶやいていました。シャロンは淋しがりやで精神的な事がすべてに影響する子なので、家に連れて帰りたいのはもちろんですが、さすがにその日は無理です。翌日、面会に行くと何も食べないのでよと言われましたが、持つて行つたささみを食べさすとガツガツ、大丈夫かなと思う程食べてくれたので先生がビックリしていました。一日も早く連れて帰りたいと話すと、酸素の事が心配なので自宅に酸素ルームを準備してもらえば大丈夫ですよといわれたのでその日、すぐに連絡を取り、翌日、持つて来てもらい、シャロンを迎えて行きました。自宅に帰るまでの時間、酸素の事を主治医が心配して下さいましたが、車の中で穏やかに眠つていました。七つ目の奇跡の復活を果たしたシャロンの看病の始まりです。

又、元気に起き上がつてくれる事を信じ、三時間おきの体位交換、一日二回のリハビリを回復日誌につけました。リハビリする時はシッポを振つていました。また食欲がなくなつたのでチューブに入つて いる食事を口に入れてあげ、あらゆる事をしま



した。声を出す事が出来ず、ほとんど眠っていたシャロン、つらかったなあ。東大病院から帰つて9日後、シャロンの枕元で片づけをしている時、首を回し、大きな目を開け、私を見たので起きたのねつて体位交換し、リハビリを始めると初めて嫌がつたのでじやあやめようねつて言つた後、嘔吐し、口拭いていると又嘔吐し、首がだらんとなり、もう駄目だと思つたので抱いて酸素のホースをボックスから抜き、シャロンの鼻に直接当てあげ、私の腕の中で亡くなりました。

この9日間、私に心の準備をさせてくれたのだと思います。病弱なシャロンが15才まで私のそばに最後まで居てくれたのです。シャロン、シャロンが心配しない様にママは元気に頑張るよ。その後、ミセス日本を応募しました。5月7日、家族皆が集まり、母の日がシャロンの火葬となりました。シャロン、可愛くて、可愛くてたまらなかつたよ、ありますがとう。

シャロンとはいろいろなところに行きました。15年前は、ペットブームとは言え、まだまだ一緒に入れるお店などは少なく、やつと探し、軽井沢のホテルに泊まつたのを覚えています。その後、娘が入りました大学がある吉祥寺に、娘が4年前から住み始めましたので毎週末はシャロンを連れて行つていました。ご存知の様に吉祥寺は住みたい町ナンバーワンに数年連続で選ばれており、それに何と言つてもペット天国です。日本で初めて出来た公園、井の頭公園もあり、一緒に入れるお店が数え切れない程あります。おしゃれで美味しいイタリアンレストランにバギーのまま入り、スタッフの方がイスをひとつ外して



下さった所にバギーを入れるという、昔、子育てをしていた頃と同じです。こんな時代になつたのだと不思議な気持ちにもなります。ワンちゃん達が当たり前のように入つてくる姿の微笑ましい事。タイ料理、居酒屋、あちらこちらにペットOKのプレートが張つてあり、ある素敵なレストランの入り口にペットOK、禁煙と書いてあり、犬が店内のイスに座り、満足そうに食事をし、喫煙者がテラス席で食事をしている姿を見て笑い話の様に見えたことがあります。

さて、最後に一つ目の諦めなかつた事、ミセス日本グランプリです。子ども達が巣立ちました事と、インターネットでホームページを見つけ、先程も書かせて頂きましたが私は福祉活動をしておりますので、ミセス日本の会が福祉に大変力を注がれているところに一致しましたのと美に対して年令を諦めず頑張っているので応募させてもらう事にしました。私は30才から直射日光を浴びていません。年令を重ねるのは仕方ありませんが、紫外線によつてしまい、しわ、たるみができる事は医学的にも証明されており、私は

何事に対しても予防が大事という考えを持つていますので最大限の努力をしようと誓つたのです。グランプリを頂いた後、インタビュアーの方とパーティーで個人的にお話しをさせて頂いている時に私の肌に感動されて、涙を浮かべて下さった事によつてコンタクトレンズがずれ、困っていた事にお詫びし、感動して下さった事にお礼を申し上げます。パールパーティーでのグランプリお披露目の時、26才の息子は結婚し、娘が23才ですとお伝えした時皆様がビックリして下さった事で、今までの努力が実つたと実感いたしました。

お肌だけではなく、表情にも気をつけていまして口角が下がらない様意識し、運転している時でさえ、口角を上げています。先日、テレビである女優さんも同じ事を言われていたので笑つてしましました。車の中は時折、自宅の部屋と錯覚される方もいらっしゃると思いますが、とんでもありません。本人が気付かないだけで、知人にも見られています。こちらが見かけても相手はわかつてないという経験を思い出せば、納得されると思います。車がすれ違う時、その一瞬に感動があると言つてもオーバーではありません。あの人は車を運転している時も素敵といわれたいものです。駐車場でも他の車には誰も乗つて居ないと、思つてしまふものです。カーミラーで必死にお化粧直しをして隣の車を見ると運転席にしつかり座つていたーなんて事もあるかと思います。あるテレビ番組で芸能人を見たというのがありますが、皆さんも向上心のある方は芸能になつたつもりで生活しましよう。

私は姿勢にも気を付けています。玄関から一步出た時から人に見られているという意



識をしております。受験などの面接は玄関を出た時から始まっています。こんなお話をあります。幼稚園の受験で、幼稚園の門を入った所でほうかぶりをし、草取りをしている用務員さんに御丁寧に挨拶をした親子が面接室に入ると、面接官のイスに座っている部長に先程は草取りをしているにもかかわらず、御挨拶をして下さり、有難うございました、とても嬉しかつたですと言われたそうです。という事は、裏を返せばその場だけ取繕つてもバレてしまふという事です。何か挑戦したい物があつた時は心を捧げる程かどうかを考え、心から願う事であれば自然に態度にも思いが表れてきつと叶うはずだと信じています。

姿勢の話に戻りますが、私は身体も鍛えていています。毎日の腹筋とストレッチで足がまつすぐ上がり、I字バランスが出来ます。社交ダンスのラテンが趣味で5年前に日本テレビで放送された、シャルウイダンス（トッププロダンサーと芸能人がペアを組んで踊り、審査してもらう）に常連でした増田大介さんを見て、この先生にダンスを教えてもらいたいなと思います、当時青山にあつた（今は原宿にあります）増田ダンスマカデミーに伺いましたらとてもお忙しい状態でしたが、レッスンをして下さる事になり、プロ

アマコンテストにも御一緒に何度か出させて頂きました。社交ダンスのラテンを始めたきっかけは、ダンスをやっている父に薦められたからです。最初は、年輩の方々がやるものだと思い、もう少し年令を重ねてから始めるねと言つたのですが、父が言うには高齢になつてから始めたのでは難しい、ある程度若い時から始めた方が上達するというのです。ダンスの世界に入つてみると年輩の方もいらっしゃいますが、学連といつて大学でやられている方や子ども達もたくさん居て、競技会に出て頑張られています。この世界も広いなと感じました。ダンスを上手に踊る為には身体がやわらかい事も重要なので、自然とストレッチをする様になりますし、プロポーションも気になりますので体型維持の面においてもとてもいいと思います。楽しい音楽に合わせて踊る事は心にもいいです。という事でダンスをお薦めいたします。

ところで、美のケアード福祉活動は好きでやつて来た事です。ところがミセス日本グラントプリを応募するにあたつて、私にとつて最大の弱点があります。それはスピーチです。私は早口なので最初、絶対無理と思いました。でも挑戦しようと決めたからにはやるしかありません。近くのスピーチ教室に行くと、先生が亡くなつたので生徒だけでやつてているから、ここに入つてもあまり効果ないですよと言われましたが、いえ、場慣れする為に來ましたので、とお伝え、お世話になる事になりました。私にとつて一番大事なことは経験を積む事で、HOWTOではないという信念を持つていました。昔、子どもの保護者会で自己紹介をするだけで大変な思いをしていましたから、スピーチ教室でどうなるかわか

らないミセス日本グランプリを応募するなんて言えないのに、読者モデルをやつていると
いう事だけをお話していました。何かのオーディションもあるの?と聞かれていたの
で、まあそんなところですと言うと、気になるなあと言わわれていました。

元ＮＨＫのエグゼクティブアナウンサーの講演会を誘つて頂き、スピーチ教室の方々、
7人でフレンチランチをして聞きに行きました。さすが、長い間一線でご活躍されている
方のお話は素晴らしい、感動いたしました。その方がおっしゃるには何故かわからないけ
れど、人の心を感動させるスピーチをされる方がいらっしゃいます。何が違うのか、探つ
てもわからない。やはりその人が元々持っている物があるのでしようと、でも少しでも近
づける為には息づかい、めりはり、嘘のない心からのスピーチをする事です、嘘はプロが
聞くとすぐにバレますからと、とても賛同しました。私にとつてスピーチの訓練は先程も
書かせて頂きましたがHOWTOではなく、場慣れだと思い、自分なりのやり方で学んで
来ましたが、この方にならミセス日本グランプリ決勝までに一度でもレッスンをして頂い
た方がいいのかな?と思い、講演終了後、その方の所に行き、事情をお話しして個人レッ
スンをやられているのですか?とお聞きしたら私はHOWTOが嫌いなのですよと。あー、
私の考え方が正しかったのだと。とても嬉しかったです。先程話を心に留めて頑張
つて下さいと、エールを下さいました。ありがとうございました。スピーチ教室の方々に
は大変お世話になりました。さすがにファイナリストに残れた時には皆さんにお伝えしま
した。小舛さん若いとか小舛さん大丈夫なんてエールをいつも下さり、生前の先生が授業

をされていた時のテープを持って来て下さつたり、スピーチの時震えたらどうしたらいいでしようかと聞くと、ヨガをされている方が丹田を意識するといいよと、アドバイスして下さつたり、スピーチの最中、もし頭が真白になつたら・・・。その事が一番恐いですと言ふと、まだ日にちがあるから大丈夫よと言われましたが、私がよほど心配そうな顔をしていたのでしようか？お電話をして下さり、もし言葉が詰まつてもそれだけ練習してれば何かの言葉は出てきますよ。聞いている側は3割しか耳に入つてこない、7割は目から入つてくるのよ。だから文章の順番が反対になつたり、一つ抜けていたりしても全く問題ないのよと。この言葉に救われました。そうなんだ、3割しか聞いてないのだ、頭の一部にリラックスの空間が出来た瞬間でした。とはいへ、気は抜けません。スピーチの時、前、左、右の3箇所を見て話すといいますが、私にとつてはその位の事でも難しいのでミセス日本のレクチャーの時に相談しましたら、慣れている人はやつた方がいいですが、そうでない人がやるとスピーチの方が大変になる可能性があるので一点を見つめて話せばいいと、おつしやつて下さいました。明るさが一番大事と言われたのでその事だけは気を付けようと思ふ、せめてスピーチを始める時と終わつた時は思いつきりの笑顔を見てもらいたいといふ気持ちとリラックスする為、当日は練習なんだという気持ちで挑みました。後でDVDを見ましたら、一点を見つめ、必死にしゃべつておりました。一生懸命さが伝わつたのでしようか？皆さんにグランプリを、お伝えした時、本当に喜んで下さいました。ありがとうございます。

最後までしゃべり終えられた事、笑顔が出た事、私にとつては最大限の努力が実りました。私は後悔という言葉が一番嫌いで、あの時、やつていれば良かつたという事がとても嫌です。何でも挑戦しないと気が済みません。この度、ミセス日本グランプリを目指して本当に良かったと心から思っています。これからも年令を諦めずに美と健康をケアーリーし、社会貢献をして参ります。私の父も年令を諦めず頑張っています。今78才ですが、70才からイベント業を始めました。ジャズコンサート、ダンスパーティーなどを行っていますので私も役員にしてもらいい、コンサート等がある時は帰つて手伝つております。



以前、岩国米軍基地に民間の飛行機を離着陸させてくれたらしいのにね、なんてふざけて言つていた事が現実になりました。岩国錦帯橋空港が開港することになり、空港名に橋の名前が入るのは日本初ということに心から誇らしく思つております。これからは、帰省が楽になります。空港の名前になつた錦帯橋が世界遺産になることを願つています。このたび最大限の努力をし、ミセス日本グランプリを頂きました。夢を叶える為に目標を持つ事でとても充実した日々を送れるという事を、これから皆さんにお伝えしていきたいです。お子さんの事、ご両親の事、愛犬の事等、いろいろな事を皆さんとお話したいなと思つています。お会いできる日を楽しみにしております。

最後にこの度、神戸まで応援に来てくれた方達、いつも話しを聞いてくれている尾道の親友、それから支えてくれた家族、皆さんに心から感謝しています。

これからも頑張つて参りますので、今後共どうぞよろしくお願ひいたします。